

# この山に登ろう⑮

こたさん  
小田山

719.1m

あと  
広島市安芸区阿戸町、東広島市黒瀬町



阿戸町と芸北山地

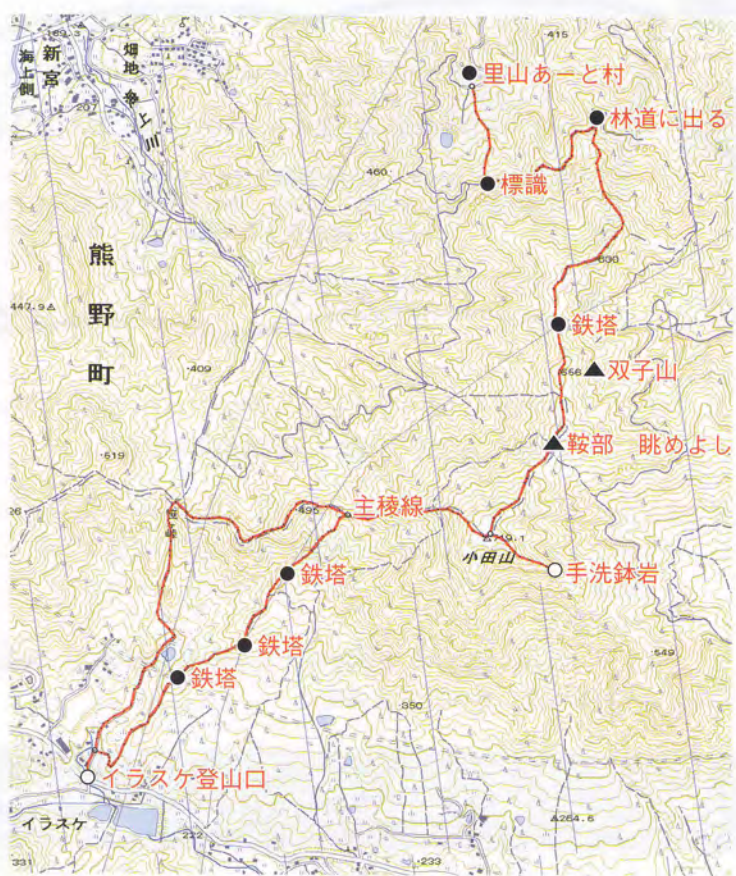
広島登山研究所 代表 松島 宏

小田山の頂上は以前、杉の植林に覆われ眺望がありませんでした。数年前に北方面が伐採され、素晴らしい眺望が生まれました。標高は719mで意外と大きな山です。頂上から芸北山地まで見渡せます。

広島市から矢野町経由で県道34号に入り、熊野町を抜けて黒瀬町への峠、大峠を下りていくと、鉄工所跡の空き地に看板があります(写真1)。ここが登山口のイラスケです(写真2)。県道から100m入ったところの三叉

路に古くて小さなプレートがあります。ここから右に入り、尾根の車道は約300mで山道となります。送電線の鉄塔が現れ(写真3)、北東の尾根を登っていきます。鉄塔が後3基現れ、笹ヶ峠から東西に伸びる主稜線にぶつかります(写真4)。標高は510m。急な尾根道を登っていくと、標高600m辺りで北斜面の杉の植林が伐採され、眺望が生まれてきます。

標高630mで林道に出ます。ここから頂上



青線は磁北線 東西約500m間隔 長さ約1kmに設定





写真1：登山口看板



写真2：イラスケ登山口と小田山



写真3：鉄塔

までは急斜面が続きます。頂上は広く、北方面が見渡せます。原山、<sup>ほらやま</sup> 鉾取山<sup>ほことりやま</sup>の向こうに芸北の山々が見えます。十方山<sup>じっぼうざん</sup>と恐羅漢山<sup>おそらかんざん</sup>は冬の時期、雪の白さとスキー場のスロープですぐ分かります。深入山<sup>しんにゅうざん</sup>も雪の真っ白な頂が浮かんで見えます。阿佐山のスキー場のスロープも確認できます。頂上には一等三角点があります(写真5)。

頂上から東南東の尾根を標識に導かれて300 m下ると手洗鉢岩があります。この岩にははしごがかかっている登れます。岩の上は窪んで水の溜まった手洗鉢があります。東の黒瀬町や野呂山が見渡せます。ぜひとも立ち寄ってください。

頂上から登ってきた尾根を下り笹ヶ峠経由でイラスケに下山することもできます。今回は頂上から北に進み広島市安芸区阿戸町の「里山あーと村」に下山するルートを紹介します。

北東に500 m進むと平坦な鞍部に到達します。この辺りは伐採が進み眺めは抜群です。東広島市方面の眺めが素晴らしく、西条盆地を見渡すことができます(写真6)。656 mの標高点のピークには双子岩があり、しばらく

進むと送電線の鉄塔があります。630 mの標高点を過ぎ、北に向かって顕著な尾根を下りていきます。途中急な所はトラロープが固定されていますので、つかまって下りてください。やがて標高460 mで林道に出ます。林道を西(左)に500 m進むと「里山あーと村」への標識が現れますので北に向かって直角に下りていきます。野外ステージや建物のある「里山あーと村」です。ここから2 km下れば阿戸町の郵便局や小中学校のある中心部です。

広島市ホームページにある安芸区役所の「魅力向上プロジェクト—山と水辺を生かした魅力ある空間づくり—ハイキングコースの整備」から小田山コースの地図がダウンロードできますので利用してください。イラスケ登山口から2 kmほど黒瀬町に下ったところに「<sup>うんも</sup>雲母の里」という温泉がありますので、下山後に汗を流してください。

#### 小田山コース地図

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000/1288145164199/files/kotasan.pdf>

イラスケ登山口→(60分)→主稜線510 m→(60分)  
→小田山頂上→(20分)→手洗鉢岩往復→(40分)  
→双子岩656mピーク→(60分)→里山あーと村  
所要時間 約4~5時間 (まつしま ひろし)



写真4：主稜線にある道標



写真5：頂上



写真6：東広島方面の眺め